

【場所・面積】東京都千代田区大手町、0.32ha

【管理目的】

「大手町の森」は、都心が失いつつある豊かな自然環境を再生することを掲げ、単なる緑地ではなく「本物の森」を作ること、都心が抱えるヒートアイランド現象の緩和や水害対策、生物多様性の保全を目的としたプロジェクトである。

【サイト概要】

都心環境に本物の森を設けるにあたり、プレフォレストという別の土地で3年間、コンクリート土壌の上で問題なく生育するかの研究実験を繰り返した後、大手町に移植するという今までにない工法で作られた都市の森である。

【サイト周辺の状況】

周辺の自然環境や土地の成り立ちに関する調査を行い、地域生態系と調和した緑地が創出されており、地域性種苗、在来種の使用を行っている。

【土地利用の変遷】

洪積台地に接する沖積低地の境界部に位置する大手町地区は海辺の植物群である【イノデ-タブノキ群集】から斜面地の植物群である【ヤブコウジ-スダジイ群集】に植生が移行するエリアとなるため、それらの主な構成種が大手町の森の基本となった。

【活動のアピールポイント】

年間を通じての生態系調査モニタリングを実施し豊かな生態系が維持できており、日常管理についても高頻度での手入れを実施している。また地域住人、テナントを巻き込んだ環境教育プログラムを開催する等、对外発信にも注力している。樹木のCO₂吸収量、保有量の観測。また生態系登録アプリの実証実験等の取り組みを行っている。

区域全体図・写真①



【生物多様性の価値、管理内容およびモニタリングの概要(1/3)】

生物多様性の価値		生物多様性の価値の概況	管理内容	モニタリング概要
8	 キビタキ	秋に渡りで飛来するキビタキを確認	自然発生	2014年9月30日に観測
4,6	 ハヤブサ	環境省レッドリスト、東京都レッドリスト記載の猛禽類であるハヤブサを確認	自然発生	2015年3月24日に観測
4,6	 ホソミオツネントンボ	東京都レッドリスト記載のホソミオツネントンボを確認	自然発生	2021年10月14日に観測

【生物多様性の価値、管理内容およびモニタリングの概要(2/3)】

生物多様性の価値		生物多様性の価値の概況	管理内容	モニタリング概要
8	 エゾムシクイ	渡りの時期の移動経路として大手町の森の利用するエゾムシクイを確認	自然発生	2021年10月5日に観測
4,9	 ウラナミアカシジミ	東京都レッドリスト記載のウラナミアカシジミ1個体を確認した。皇居でも非常に稀な種。植栽したコナラに卵がついてきたと考えられる。	自然発生	2015年3月24日に観測
6,8	 ヤマシギ	渡りの時期の移動経路として大手町の森の利用する東京都レッドリスト記載のヤマシギを確認した。	自然発生	2015 年10 月20 日に観測

【生物多様性の価値、管理内容およびモニタリングの概要(3/3)】

生物多様性の価値		生物多様性の価値の概況	管理内容	モニタリング概要
6,8	 ヤマガラ	渡りの時期の移動経路として大手町の森の利用する東京都レッドリスト記載のヤマガラを確認した。	自然発生	2015 年10 月20 日
9	 タヌキ	皇居に生息するタヌキが異動してきたと考えられる。	自然発生	2019 年に観測

大手町の森の生態系

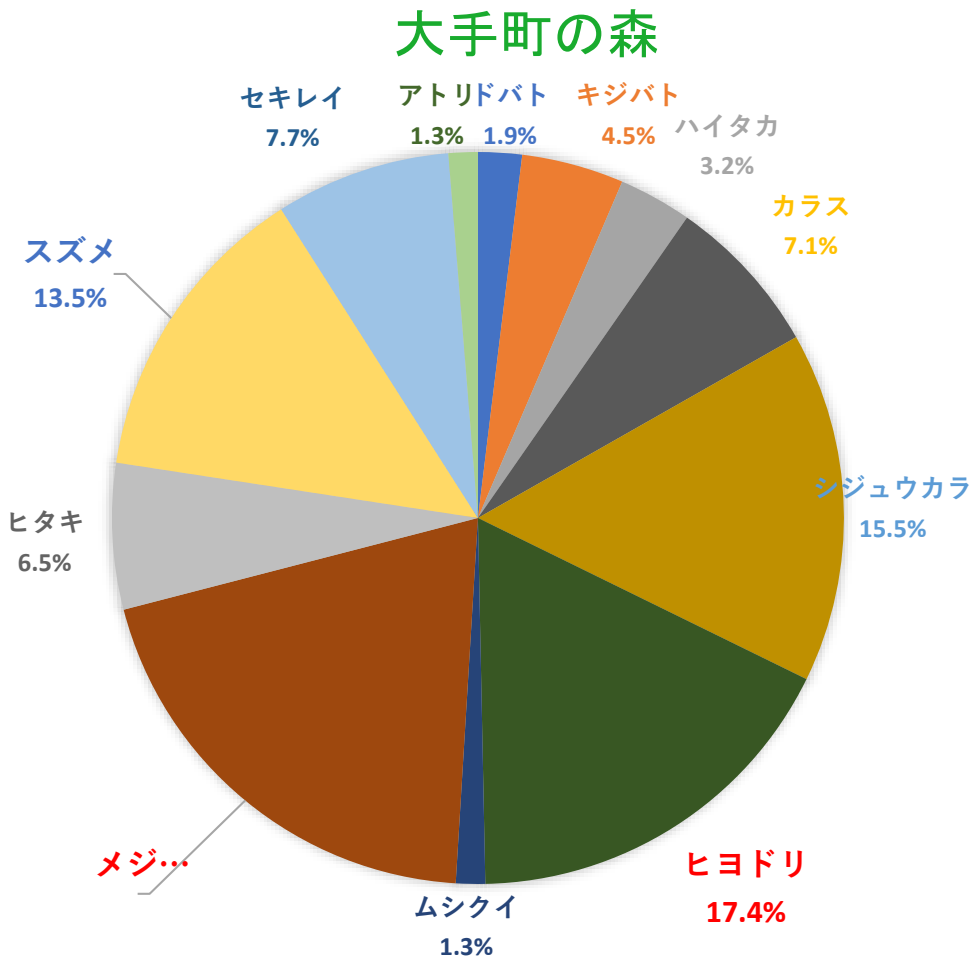
昆虫類 周辺緑地との比較

- ・大手町の森
⇒バッタ、ナナフシなど樹上性の種が多い(日陰特性)
- ・周辺4緑地
⇒チョウ、ハチ など訪花性の種が多い(日向特性)

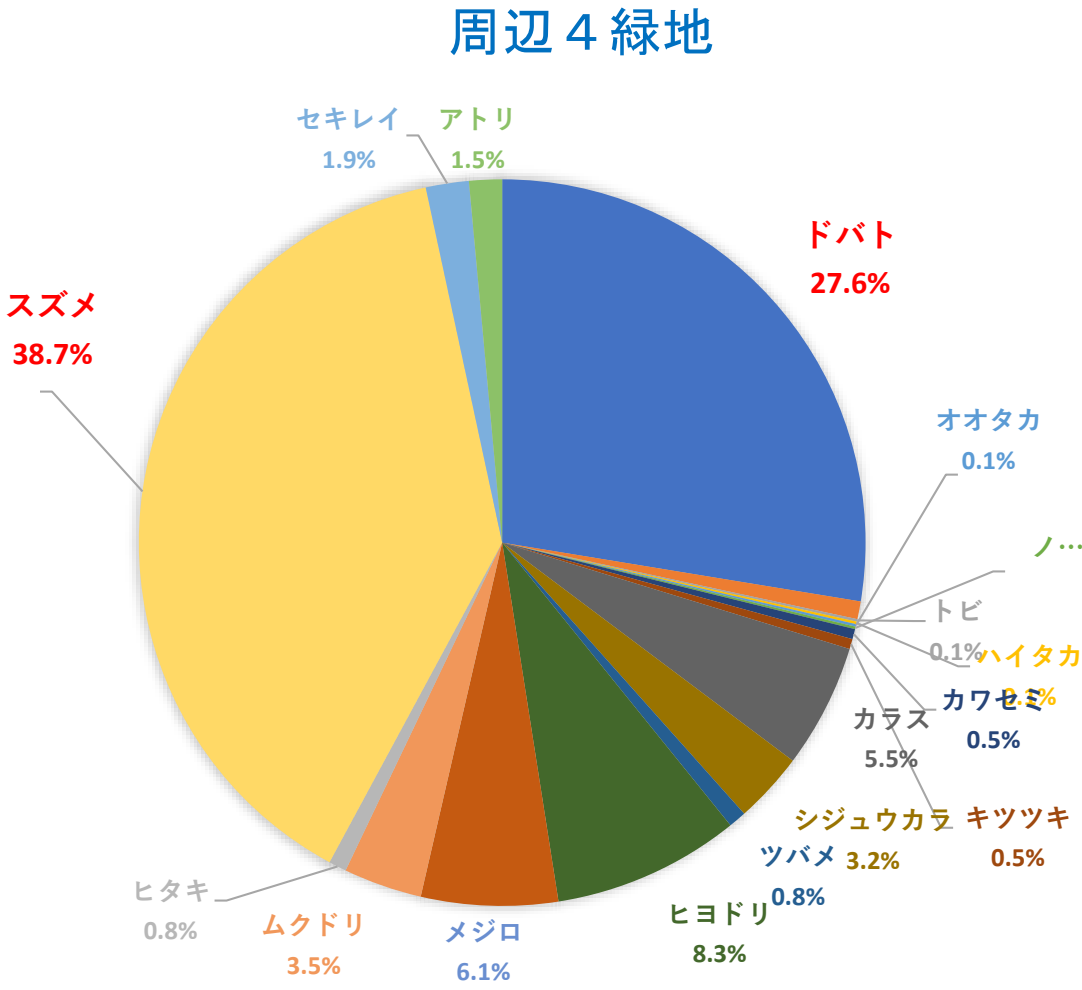
	大手町の森	周辺 4 緑地
目名	種数	種数
トンボ	10	18
ゴキブリ	1	1
カマキリ	1	2
ハサミムシ	1	2
バッタ	15	10
ナナフシ	2	0
カメムシ	18	21
アミメカゲロウ	0	4
チョウ	34	47
ハエ	6	21
コウチュウ	24	27
ハチ	17	40
	129	193

大手町の森の生態系

鳥類 周辺緑地との比較



ヒヨドリ、メジロ等の樹林環境を好む鳥類が多い



開けた緑地のため、ドバト、スズメ等が構成の6割以上を占める